

平成 29 年 4 月 25 日

近畿中国森林管理局京都大阪森林管理事務所

京都府立大学森林科学科

～「センダン」記念植樹～

近畿中国森林管理局京都大阪森林管理事務所(以下「所」)、京都府立大学(以下「府大」)は、早生樹として木材利用価値が期待されているセンダンの普及に努めております。

そこで、この度、蜂ヶ岡中学校において、成長が早く、花・実の観賞用としても楽しめるセンダンの植樹・栽培を、森林環境教育の一環として取り入れていただくことを目的とし、記念植樹を実施いたしました。

冒頭、近畿中国森林管理局の馬場局長、京都府立大学の田中副学長、蜂ヶ岡中学校の木村校長から、今回のイベントの意義等をお話いただき、その後、森林資源循環学研究室の糟谷助教から、センダンの特徴、植栽後の管理方法、観察のポイント等についての話を行いました。

センダンについて学んだ蜂ヶ岡中学校科学部の生徒 12 名は、所の職員や府大の学生等から指導を受けながら、丁寧に植樹を行いました。

今後、所と府大は定期的に中学校を訪問し、苗の成長を中学生とともに見守ることとしています。



田中副学長からの意義等



糟谷助教からのセンダンの説明



植樹



植樹



センダンの苗



植栽個所

①グラウンド北側斜面

- ・既存木(スギ・サクラ等)の間に3本程度植栽
- ・日当たりが良く生育条件良好

②校舎北東裏

- ・空きスペースの片隅に3本程度植栽
- ・日照が乏しく、土壌にコンクリート殻が含まれる等、厳しい条件であるが、生育可能



実施体制

- ① 府大専門家の技術指導の下、蜂ヶ岡中学校科学部の生徒が中心となり、植栽・管理(芽掻き)を実施
- ② 苗及び芽掻き用薬剤等、当面必要な資材は所が提供



管理計画

- ・植栽後の管理(芽掻き)
- ① 5月下旬、6月下旬：府大、所の技術指導の下で生徒が作業
 - ② 7～10月：生徒のみによる作業(毎月1回)
 - ③ 11月：年内最後の作業。状況確認(府大、所、生徒)
 - ④ 来年4月：状況確認をし、作業計画を検討(府大、所、生徒)
 - ・成長後の扱い(状況に合わせて検討)
- ① 5年程度で花・実が楽しめるため、適宜剪定しながら育成。生育課程を観察。
 - ② 落葉・落実の弊害が起きた際には伐倒処理